

30521
教科書文庫

3
760
41-1902
01304 58329

Kodak Gray Scale



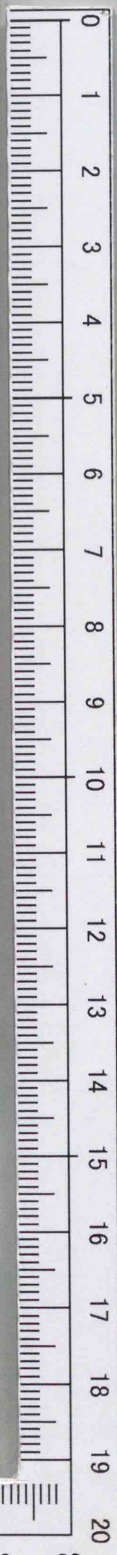
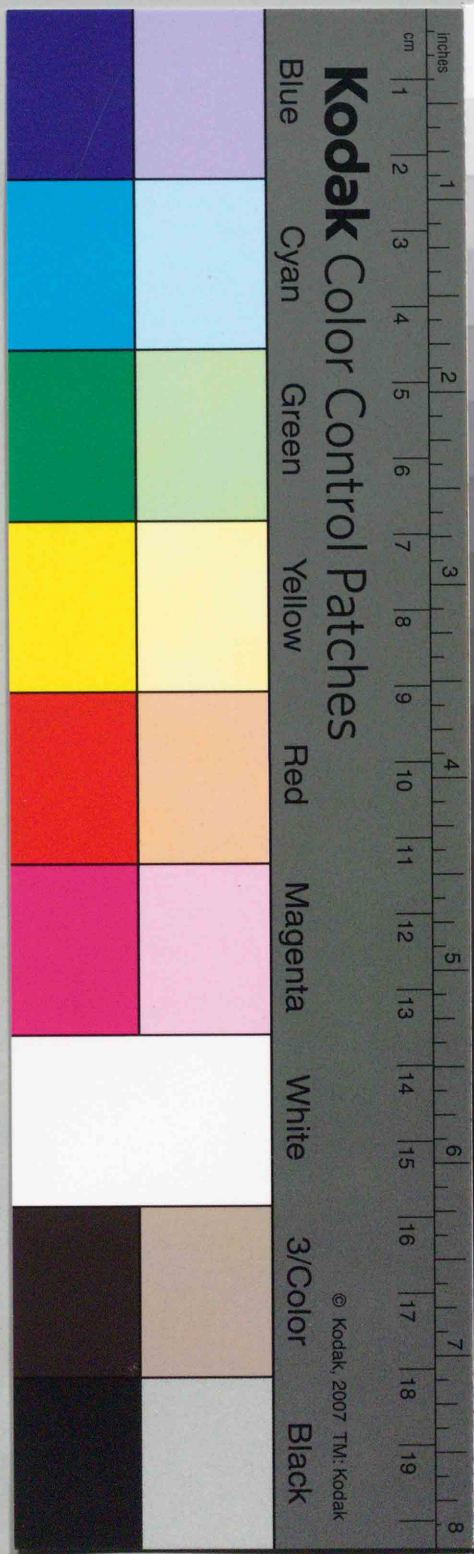
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科
41
013

鈴木次郎
堅村成仁 共編

新編
中學唱歌集
中卷

東京 十字屋發行

中央図書館

教科書文庫

3

760

41-1902

0130458329

鈴木米次郎
堅村成仁 共編

新編
中學唱歌集
中卷

東京 十字屋發行

広島大学図書

0130458329



新編中學唱歌集

例 叙

本書ハ現時ノ中學校程度ノ唱歌ヲ蒐メ專ラ其教科
ニ充ツルヲ目的トナシタルモノナリ

而シテ歌曲全體ヲ分ツテ二種トナシ一ハ我國音樂
大家ノ新作ヲ乞ヒ一ハ歐米樂家ノ佳作ヲ集メタリ
是レ彼我曲趣ノ各比融通ヲ謀ラムノ微意ノミ

從ツテ歌詞モ亦二種トナシ一ハ我文學大家ノ作ヲ
乞ヒ一ハ英語ノ唱歌ヲ以テセリ蓋シ前者ハ普通教
育ニ充ツル爲メ後者ハ外國語中專ラ中等教育ニ必

用ナル英語ノ發音ヲ正スハ唱歌ノ能ク與ツテ力アル所タルヲ以テ是等ノ主義ヨリ殊ニ然セル者ナリ又卷末ニ音樂理論ヲ附記シタルハ音初步ニ樂譜ノ要領ヲ知ラシメ直接本編中ニアル樂譜ヲ會得セシムルヲ主トシタルモノナレバ進ンデ深キヲ知ラント欲セバ理論專門ノ書ニ就テ見ルヲ可トス而シテ本編ハ分ツテ上卷、中卷、下卷ノ三冊トナシ漸々曲調難易ノ順序ニヨリテ之ヲ配置セリ本書ハ即チ其中卷タリ

明治三十五年六月

編者誌

新編

中學唱歌集

中卷目次

	作歌者	作曲者
國旗	中村秋香	田村虎藏
學の海	福井久藏	河原林吉利
鯉	渡邊盛衛	河原林吉利
運動勝利者歡迎	岡野英太郎	田村虎藏
送別	福井久藏	岡野貞一
友	西岡嘉藏	大村恕三郎
亡友	中村秋香	原曲
汝干狩	岡野英太郎	入江好治郎
夏	西岡嘉藏	櫻井信彰

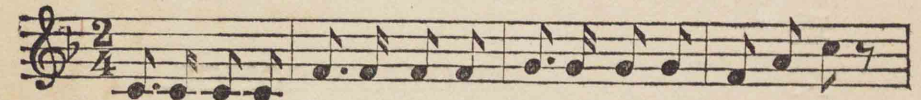
英語之部

ENGLISH SONGS.

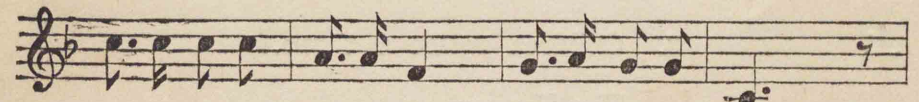
1. God Save the King.
2. The Cricket.
3. Children go To and Fro.
4. The Farmer.
5. Praise of Singing.
6. Robinson Crusoe.
7. Summer Song.
8. Drummer boy.
9. Swinging 'neath the Old Apple Tree.
10. Hail Columbia.

瀧	大	日	紀	同	秋	節	英	親	冬	演
洋	曜	日	念	窓	操	雄	愛	習		
旗野十一郎	旗野十一郎	中村秋香	岡野英太郎	旗野十一郎	中村秋香	大槻如電	渡邊盛衛	邊渡盛衛	西岡嘉藏	
永井幸次	益山鎌吉	橋本正作	永井幸次	石野魏	橋本正作	大村恕三郎	石原重雄	入江好治郎	前田久八	原曲

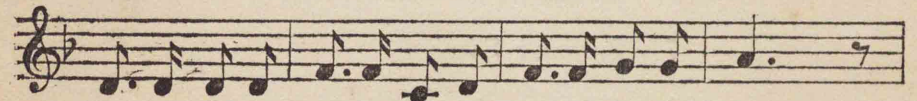
國 旗



一. ハルカニ ミユルー カシコノ ミナト
二. ばんりの はたうを しのぎて きたる



ムラダツ フネノ ホバシラニ
このさか ひにて このはたを



ヒラメク アマダノ コクキチウ
のぞめば さながら なつかしき



マヅメニ ツクハ アサヒノ ミハタ
わがはら かりに あふこち せり

六

國 旗

中村秋香 作曲
田村虎藏 作曲

一、はるかにみゆる、

むらだつふねの、

ひらめくあまたの、

まづ目につくは、

かしこのみなと、

ほばしらに、

國 旗 中、

あさひの御旗。

二、萬里の波濤を、

凌ぎて來たる、

このさかひにて、

この旗を、

のぞめばさながら、

なつかしき、

わがはらからに、

あふこちせり。

七

學の海

一、 ナミダ カシコキ ヲナ バラ モ
 二、 いはね こむし きや きさ か も
 三、 マナビノ ウミニ フナ デシ テ

ワタ ラバ キ シニ イタル ベシ
 よづ れば くもを しのぐ ベシ
 タツ ノー アギトノ タマ ラ エ ム

チ ヒロ ノ ソコ シ サ グ ラズ ハ
 ち さ と の お く が き は め ず は
 フ ミ ノー ハ ヤ シニ ワ ケ イ リ テ

マ ナ ビ ノ マ タ マ イ カ デ エ ム
 え な ら ぬ は な を い か で み む
 ツ キ ノー カ ツ ラ ラ タ ラ ラ ナ ム

學の海

福井久藏
 河原林吉利
 作曲

一、浪路かしこき海原も、
 わたらば岸にいたるべし、

千尋の底しさくらずは、
 まなびの眞玉いかで得む。

二、岩根こゝしき山坂も、
 よづれば雲を凌ぐべし、

千里の奥がきはめずは、
 えならぬ花をいかで見む。

三、まなびの海に舟出して、
 龍のあざとの玉を得む、
 文のはやしに分け入りて、
 月のかつらを手折らなむ。

鯉

渡邊盛衛作歌
河原林吉利作曲

一、水面にいで、躍るとき、

黄金のうろこ、波に照り、

千尋の淵に、ひそむとき、

眞珠のまなこ、水を射る。

二、雲より落つる、龍門の、

瀧をのぼりて、天かける。

龍と化せむは、何時ならむ、

ひそみて待てよ、淵に瀬に。

鯉

快速ニ

一、 ミツモニイデテオドルトキ
二、 くもよりおつるりゆうもんの
コガネノウーロコナミニテリ
たーきをのぼりてあまかける
チヒロノフチニヒソムトキ
たーつさくわせむはいつならむ
シンジュノマーナコミヅライル
ひそみてまーてよふちにせに

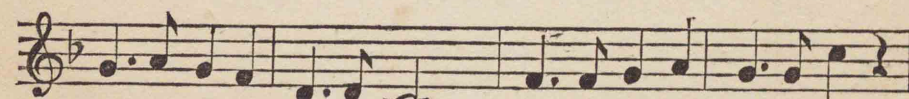
運動勝利者歡迎



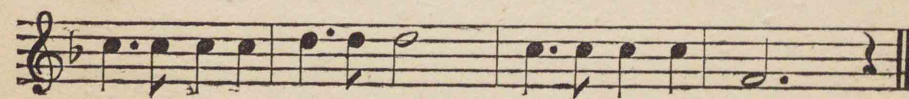
一. アー — イ サ マシ ヤ ケ フ ノ イ サ ラ シ
二. い ざ や む か へ ん め い よ の き み を



ア — — サ カ シ ナ リ コ ノ シ ヨ ウ リ
い ざ や い は は ん し ょ う り し や を



メ イ ヨ ラ カ タ ニ ニ ナ ヘ ル キ ミ ラ
は — く し ゃ か つ さい て ん ち に ひ び き



ヨ ロ コ ビ ム カ フ ニ ク ワ イ サ ヨ
た い せ い か ん こ ば ん ば ん ざ い

運動勝利者歡迎

岡野英太郎 作歌
田村虎藏 作曲

一、ア、勇ましや、今日のいさをし、

ア、壮^{さかん}なり、この勝利、

名譽を肩に、になへる君を、

歡び迎ふ、愉快さよ。

二、イザヤ迎へん、名譽の君を、

イザヤ祝はん、勝利者を、

拍^{はく}手^{しゅ}

喝^{かつ}采^{さい}、天地にひびき、
大聲^{たいせい}歡^{かん}呼^こ、萬々歲。

送 別



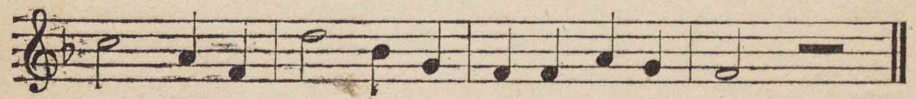
一. ア ソ ビ ナ レ ニ シ サ ト ガ ハ ノ ー
二. か ず み ふ き と く あ さ か ぜ に ー
三. ミ ナ ト ニ ツ ー ド フ ヒ ト ノ ム レ ー



ツ ツ ミ ラ ト ザ ス ア サ ガ ス ミ ア
な び く や な ぎ の い と を し く わ
ウ ラ デ ニ ヒ ビ ク フ エ ノ オ ト ナ



サ タ ツ キ ミ ラ ミ オ ー ク レ バ カ
か れ を を し む な は ー て み ち こ
ゴ リ ツ キ セ ス オ ホ ー フ ネ ハ ケ



ハ セ ノ チ ド リ ナ キ テ ケ リ
こ ろ の こ り て す ぎ に け リ
ブ リ ラ ト メ テ イ デ ニ ケ リ

送 別

岡福 野井 貞久 一藏 作曲歌

一、遊 び な れ に し、 里 川

つゝみをとぞす、

朝 の 霞、

あさたつ君を、

み送れ

川瀬の千鳥、

二、霞 ふ き と く、 朝 風

なびく柳の、

別 を を し む、 暇 手

心のこりて、

三、港 に つ ど ふ、 ひとのむれ、

浦路にひゞく、

なごりつきせぬ、

大 船 は、

友

一. ツーキトハナトニムツビアフ
二. ヨーきにほたるにちざりける

へダテヌナカノートモガキモ
みーづとうをどのまじはりも

レイテフコートノナカリセバ
しんてふここのなかりせば

ウキヨノカーゼニヤブレマシ
うきよのな一みにはなれまし

友

西岡嘉藏作歌
大村恕三郎作曲

一、月と花とにむつび合ふ、

隔てぬ中の友垣も、

禮てふことのなかりせば、

浮世の風に破れまし。

二、雪に螢に契りける、

水と魚との交りも、

信てふことのなかりせば、

憂世の波に離れまし。

亡友



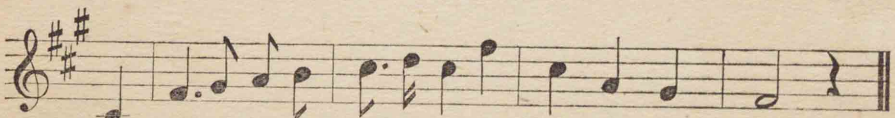
一、ハルハサカリノハナノカゲ
二、うれしきこどもうきふしも



アキハクマナキツキノマへ
かたらひかはしもろどもに



タモトラーツラネシトネーヲワーカチテ
ちとせをーかけてちぎりーしわーがども



カタミニムツビシワガトモヨ
あはれそのどもよそのどもよ

亡友

原 中村秋香作歌
曲

一、はるはさかりの、花のかげ、

あきはくまなき、月のまへ、
たもとをつらね、しとねをわかつて、
かたみにむつびし、わがともよ。

二、うれしきことも、うきふしも、

かたらひかはし、もろともに、
ちとせをかけて、ちぎりしわが友、
あはれそのともよ、その友よ。

汝 干 狩



一、ハールノヤヨヒノミールカノアサオモフ
 二、ひくおほしほのーずーにたちてあさル
 三、アールビクラシテカールサノミチノ



トモドチサソヒアヒフーナデノドケキ
 うろくづひろふかひかひあるけふーの
 ツカレモウチワスレエーモノエモノヲ



ウナバラヤオーキツシマネニヤーヘガスミ
 かりくらべみるめもあーかずひーもすがら
 イヘツトニオノオノイーサミワーカレケリ

汝 干 狩

入岡野英太郎作曲
 江好治郎作歌

一、春の彌生^{やよひ}の三日^{みか}の朝^{あさ}、

おもふ友^{とも}どち誘^{さそ}ひ合^あひ、

船出^{ふねで}のどけき海原^{うみはら}や、

沖^{おき}つ島根^{しまね}に八重霞^{やえがさ}。

二、引く大潮^{おほしほ}の洲^すに立ちて、

あさるうろくづ拾^{ひろ}ふ貝^{かい}、

かひある今日^{けふ}の狩^かり競^{あそ}べ、

みるめも飽^あかずひもすがら。

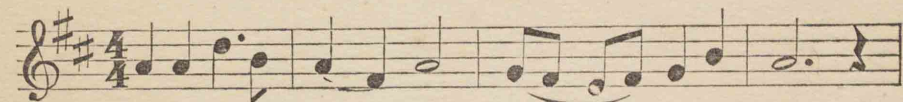
三、遊び暮^{くれ}して歸^{かへ}るさの、

道^{みち}のつかれも打^うち忘れ、

獲物^{とくぶつ}くを家^{いへ}つとに、

おのく勇^{ゆう}み別^{わか}れけり。

夏



一、 ヒトムラ スギ シ ユー フー ダ チ ノ
二、 まがきに さ け る あー さー が ほ の



クー モモ コ コ ロ モ ハ レ ユ キ テ
つー け も い ろ か も ひ に ま し て



ナー ゴ リ ス ズ シ キ ツー キー カ ゲ ニ
なー が め け か し き あー さー と で に



ナー レ シ ア フ ギ モ ワ ス ラ レ ヌ
しー ば し う き よ も わ す ら れ ぬ

夏

西岡嘉藏 作曲
櫻井信彰 作曲

一、 一とむらすぎし夕立の、

雲もこゝろも晴れゆきて、

名残涼しき月影に、

なれし扇も忘れぬ。

二、 まがきに咲ける朝顔の、

露も色香も日に増して、

ながめゆかしき朝戸出に、

しばし憂世も忘れぬ。

瀧



一. ミヨヤミヨヤダキノミツア
二. きけよきけよたきのおと い

マノガハヨリオチークルカ
はをつづみさうちーなして

イハホモツラヌクイキホヒハコレ
よるひるしらべのたえなるはこれ

ナムワレラガノザミナル
なむわれらがつどめなる

瀧

旗野十一郎 作歌
永井幸次 作曲

一、

見よや見よや、
天漢より、
瀧の水、
巖石も貫く、
おちくるか、
いきほひは、

これなむ吾輩が、
志望なる。

二、

聞けよ聞けよ、
岩を鼓と、
瀧の音、
夜晝しらべの、
うち鳴して、
絶えざるは、
これなむわれらが
勤務なる。

大 洋

旗野十一郎 作曲
益山 鎌吾 作曲

一、和むときは、荒るゝときは、
 そこのころは、うへより誰れか、
 ア、無量ものは、
 ア、靈妙なるものは、
 珊瑚の廣物、珊瑚の真珠、
 鹽のまちひに、
 大艦小舟、
 ア、無量ものは、
 ア、靈妙なるものは、
 載せはたぶ、
 世をわたる、
 底にこめ、
 また狹物、
 大洋なり、
 大洋なり、
 大洋なり、
 大洋なり、

大 洋

一、ナ ゴム トキ ニ ハ ア ヲ ノ ハ ラ
 二、は た の ひろ も の ま た さ も の
 ア ル ル ー ト キ ー ニ ハ チ ヘ ノ ヤ マ
 さ ん じ ゅ ー し ゅ ー た せ こ に こ め
 ソ コ ー ノ コ ー コ ロ ハ シ ラ ー ナ ミ ノ
 し ほ ー の み ー ち ひ に よ を ー わ た る
 ウ ヘ ヨ リ タ ー レ ー カ ハ カ ー リ エ ム
 お ほ ぶ ね を ー ぶ ー ね の せ ー は た ぶ
 ア ア ハ カ リ ナ ー キ モ ノ ハ オ ホ ウ ー ミ ー ナ ー リ
 あ あ は か り な ー き も の は お ほ う ー み ー な ー リ
 ア ア ク シ ビ ナ ー ル モ ノ ハ オ ホ ウ ー ミ ー ナ ー リ
 あ あ く し び な ー る も の は お ほ う ー み ー な ー リ

日 曜

mf

rit. f

p

一、二、三、四、

ムチチタ ツギギダ シリシナ トシトス モココギ ニーロー アけケア フふハチ ヒーカ クヤハ サマハ トヨヨヒ ムコカツ

カゴギ フロヘ ヒガマイ カケチツ ゲシシタ ノモモビ ケススア サデダー ハニニハ ウムムイ レイイタ シカカビ コママツ

コロビ ニーカ ーカ ーカ ルツ ユモ ナク テチ ギ

ナビ ノーマ ーマ ーマ のひ イ ト マ を し ミ ニ や う

ナダ め を つ な ー ー ー ー の し の ゴ に は た ま れ

リヤ シ ト コ ロ ヲ メ グ ー リ ー ク ラ サ ム

ザレ ア ツ リ メ シ カ リ ー の の の ク ク サ

シヒ ヤ シ フ シ ヲ ツ タ ズ シ ー の の の し し み

日 曜

旗野十一郎 橋本正一 作曲

- 一、むつびしともにあふひくさと、
むかふひかけのけさはうれし、
心頭にかゝる露もなくて、
約束し箇所をめぐりくらさむ。
- 二、ちざりしところけふは山よ、
こゝろがけしもすでに六日、
まなびのまどのひまををしみ、
やうくつくりし獵の道具。
- 三、ちざりしところけふは川よ、
かぞへまちしもすでにむいか、
まなびのわざのいとまごととに、
それぐあつめし釣のものくさ。
- 四、徒爾になすぎそあたらしい日、
つきにいつたびあるはよたび、
勉強をつねと忍耐身には、
精神やしなふためのたのしみ。

紀 念 日



一、イ ハ ヒ テ コ ト ホ ゲ ケ フ ノ ー ヒ ー ラ
二、わ が こ の に は は ー わ が ど ー も ー の
三、カ カ レ バ ヤ ガ テ ー ケ フ ノ ー ヒ ー ハ



ケ フ ノ ー コ ノ ヒ ハ ワ ガ ト ー モ ー ノ
ち ち ど ー な り ま た は は ど ー な ー り
ワ レ ラ ガ オ ー ヤ ノ タ ー シ ー ジ ャ ウ ビ



ア サ ナ ー ユ フ ナ ニ タ チ ナ ー ラ ー ス
や す く ー の ど か に よ を ふ ー ペ ー き
イ ザ ヤ ー イ ハ ハ シ モ ロ ト ー モ ー ニ



ニ ハ ノ ー ヒ ラ ケ シ キ ー ネ シ ノ ー ヒ
み ち に ー み ち び く お ー や な る ー ぞ
イ デ コ ト ホ ガ シ ー モ ロ ゴ ー エ ー ニ

紀 念 式

中 井 村 幸 次 香 作 曲 歌

一、祝ひてことほげけふの日を、

けふのこの日はわがともの、

あさなゆふなにならす、

校のひらけし記念の日。

二、わがこの校はわがともの、

父となりまた母となり、

やすくのどかによを経べき、

道にみちびく親なるぞ。

三、かゝればやがてけふの日は、

われらが親の誕生日、

いざやいはんもろとものに、

いでことほがんもろごゑに。

同窓會

一、イニシハルアキイクトセーヲ
 二、そのともがーきのへだてなーく
 三、カタラフフーシモオゴソカーニ
 四、てーるひかたむくころまでーも

オーナジマナビノコノニハーニ
 けふこのにーはにまどおしーて
 ワーシテナガレヌタハムレーヤ
 むーつみあそべるたのしさーは

トーモニホタルヲアツメテーシ
 かたみにふーくむるみのなーか
 ヨキヨウハジューシニカズラヘーテ
 なーににたさへんからにしーき

トーモニミユキニハゲミテーシ
 むりやうのあーいをたたへつーつ
 イヨイヨキヨウノマスカガーミ
 たたまをーしきばかりなーり

同窓會

岡野英太郎 魏作作曲

- 一、いにし春秋幾年を、同じ學びの此の庭に、共に螢を集めてし、ともに深雪に勵みてし。
- 二、其の友がきの隔てなく、今日此の庭に團居して、かたみに含む笑の中、無量の愛を湛へつゝ。
- 三、語らふふしもおどそかに、和して流れぬ戯や、餘興は順に數を経て、いよく興のます鏡。
- 四、照る日傾く頃までも、睦み遊べる樂しさは、何にたとへん唐にしき、たゞまく惜しきばかりなり。

秋

allegro

一. ヨ ツ ノ ト キ ニー モ ア キ コ ソー タ ノ シ ヤ
 二. よ つ の と き にー も あ き こ そー た の し つ

p

マ ハ ミ ネ マー デ モー ミ デ パ ニ ホー ビ ノ
 ゆ の く さ ばー に てー る つ き き よー く よ

dim.

ペ ハ チ グ サー ニ ム シ ノ ネ ア ハ レ ヨ
 ず る ほ な みー に ふ く か ぜ か を る よ

f *dim.*

ツ ノ ト キ ニー モ ア キ コ ソー タ ノ シ
 つ の と き にー も あ き こ ろー た の し

秋

旗野十一郎 作歌
 橋本正作 作曲

一、四の時に、秋こそたのし、

やまはみねまで、もみぢばにほひ、
 のべはちくさに、むしのねあはれ、
 よつのときにも、あきこそたのし。

二、よつの時にも、あきこそたのし、

つゆのくさばに、てるつききよく、
 よするほなみに、ふくかぜかをる、
 よつのときにも、秋こそたのし。

節 操

一、イ ロ ソ ニ ホ ヘ ハ ナ モ ー ミ ダ ー
 二、あ う し を し の ゑ ゆ き に ー た へ ー

ア ラ シ ニ ア メ ニ ツ ヌ シ ー モ ニ ー
 と き は の い ろ を あ う た ー め ん ー

ホ コ ロ ビ ヤ ス ク ソ メ ヤ ス ク ー
 ま つ の み ど り ぞ お む が し き ー

ウ ツ ロ ヒ ヤ ス キヲ イ カ ニ セ ン ー
 ま つ の み さ を ぞ し た は し き ー

節 操

中村秋香作歌
 大村恕三郎作曲

一、色こそ匂へ花もみち、

あらしに雨に露しむに、

綻びやすく染めやすく、

うつろひやすきをいかにせん。

二、あらしを凌ぎ雪にたへ、

常磐のいろをあらためぬ、

まつのみどりぞおむがしき、

松のみさをぞしたはしき。

英雄

快活ニ



英雄

大槻如電作歌
石原重雄作曲

一、四海なみ風平かなれど、

心ゆるさず梶柄とりて、

民の針路をさきから先に、

憂ふる人こそすぐれひと。

二、麻の如くに亂れし世をば、

わけてをさめて青人ぐさの、

鼓腹の聲を聞きての後に、

樂む人こそすぐれひと。

親 愛

一、ワレココロヨリシタシメーバ、
二、こころつくしていつくしめば、
ハンリノソトノエビスダニ、
かのおそろしきとらだにも、
アフーギシタシミナツクナリ、
かしらをたれつーみをふして、
ヒトツノイヘニーオキフシシヒトツノクニニースムタミノ、
わがあしもとにこぶるなりあいはしげんのころにて、
ナドテカアイニーワセザラシ、
あーいはわらくのかみなるか、
ナドテカアイニーワセザラシ、
あーいはわらくのかみなるか。

親 愛

入渡 江邊 好盛 治郎衛 作曲 作歌

一、われこゝろよりしたしめば、

ばんりの外のえびすだに、

あふぎしたしみなづくなり、

ひとつのいへにおきふし、

ひとつのくにすむたみの、

なぞてか愛に和せざらん。

二、こゝろつくしていつくしめば、

かのおそろしき虎だにも、

かしらをたれつ身を伏して、

わが足もとにこぶるなり、

愛は自然のこゝろにて、

愛は和樂の神なるか。

冬

一、ユキフリ ツモル ノユノア サ コゴユル
二、あられた ば しろ ふゆのよ る さむきー

ユビニー イキフキカケ テ ノラ ニーヤマヂ ニカケ
ひをけに すみ かきおこ し いま やーいにし へくさ

メグー リウサギ ーヲオー フタノ シサーハ
くさー の ふみ ひ ーもさー くの しさーは

タトヘム モノモ ナカリケ リ アアフ ユヨ
たとへむ もの も なかりけ り ああふ ゆよ

フユフ ユコソ ワレラ ハ タノ シケ レ
ふ ゆふ ゆこそ われら は たの しけ れ

冬

前渡 田邊 久盛 八衛 作曲
作曲歌

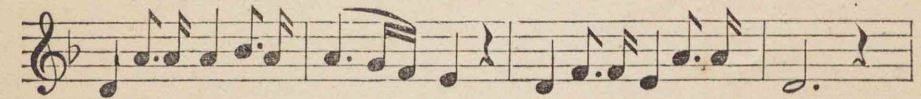
一、雪ふりつもる、 冬のあさ、
こゝゆる指に、 息吹きかけて、
野らに山ぢに、 かけめぐり、
兎を逐ふ、 たのしさは、
たとへむものも、 なかりけり、
ア、冬よ冬、 ふゆこそ我等は、
たのしけれ。

二、あられたばしろ、 冬のよる
さむき火桶に、 炭かきおこし、
今やいにしへ、 くさぐさの、
ふみひもとく、 たのしさは、
たとへむものも、 なかりけり、
ア、冬よ冬、 ふゆこそわれらは、
たのしけれ。

演 習



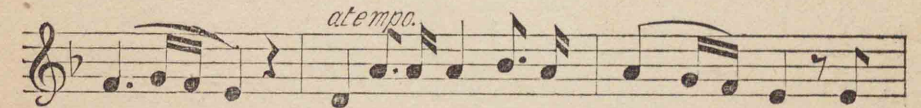
一、ツキオチシモ ミー チワガイキアガリー
二、つつおとやさ けー び さんがにひびきー



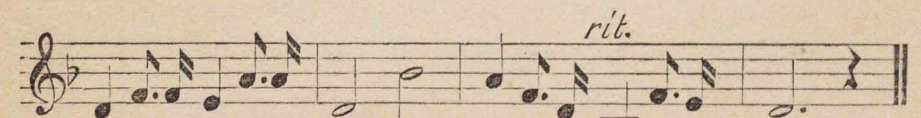
コシナルシウスー 卒 ナリカツオドル
たまちるじう けー ん あさひにきらめく



チカメヤワガトー モ ムレタツートリ
つきこめます らー を ひたひにーやだ



ニー モ オドロクテキグー ン イ
まー を うくとて もて きー に そ



ツキヨニフミヤブ レチ カメヤワガト モ
びらをみずる な ま つ きこめ ます ら を

演 習

原 西岡嘉藏作歌
曲

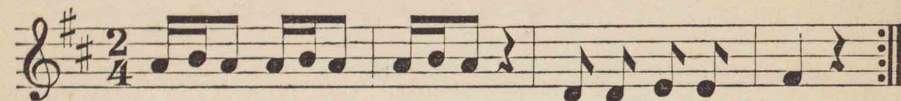
一、月落ち霜満ち、我が意氣揚り、

腰なる秋水、鳴りかつおどる、近めや我が友、
群れ立つ鳥にも、おどろく敵軍、一舉に踏破れ、
近めや我が友。

二、筒音矢叫び、山河に響き、

玉ちる銃劔、朝日にきらめく、突込め益荒雄、
額に矢玉を、受くとても敵に脊を見するなよ。
突込め大丈夫。

2. THE CRICKET.



1. { Chirp, chirp, chirp! Soon :s fades the light; }
 { Chirp, chirp, chirp! Thro' the sum - mer night; }
 2. { Chirp, chirp, chirp! While I sound - ly sleep; }
 { Chirp, chirp, chirp! you still waking keep; }



1. 2. Lit-tle cricket In the thicket, chirp, chirp, chirp!



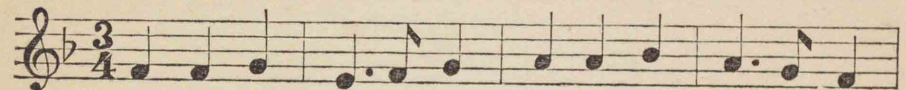
Lit-tle cricket In the thicket, chirp, chirp, chirp!



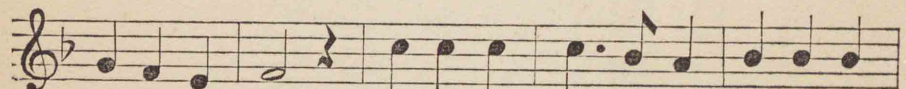
Cricket in the thick-et, Chirp, chirp, chirp!

1. GOD SAVE THE KING.

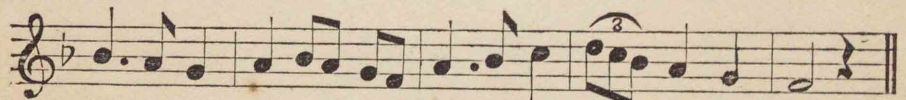
(英國々歌)



God save our gracious King Long may King Edward reign,



God save the King; Send him vic - to - rious, hap-py and



glo - ri - ous, Long to reign o - ver us, God Save the King.

3. CHILDREN TO AND FRO.

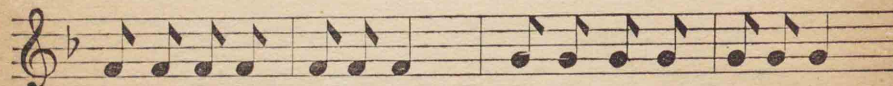
Lively.



1. Chil-dren go To and fro, In a mer-ry, pret-ty row ;
2. Birds are free ; So are we, And we live so hap - pi - ly !



Foot-steps light, Faces bright, - 'Tis a hap-py, hap-py sight ;
Work we do, Stud-y too, Learn-ing dai-ly some-thing new ;



Swift-ly turn-ing round and round, Do not look up-on the ground ;
'Then we laugh, and dance, and sing, Gay as birds or an-y thing.



Fol-low me, Full of glee, Sing-ing mer-ri-ly. Sing-ing mer-ri-ly,
Fol-low me, Full of glee, Sing-ing mer-ri-ly. Sing-ing mer-ri-ly,



mer-ri-ly, mer-ri-ly, Sing-ing mer-ri-ly, mer-ri-ly, mer-ri-ly ;
mer-ri-ly, mer-ri-ly, Sing-ing mer-ri-ly, mer-ri-ly, mer-ri-ly ;



Fol-low me, Full of glee, Sing-ing mer - ri - ly.
Fol-low me, Full of glee, Sing-ing mer - ri - ly.

3.

Work is done, Play's be-gun ;

Now we have our laugh and fun ;

Hap-py days, Pret-ty plays,

And no naugh-ty, naugh-ty ways ;

Held-ing fast each oth-er's hand,

We're a cheer-ful, hap-py band.

Fol-low me, Full of glee, Sing-ing mer-ri-ly.

Sing-ing mer-ri-ly, mer-ri-ly, mer-ri-ly,

Sing-ing mer-ri-ly, mer-ri-ly, mer-ri-ly ;

Fol-low me, Full of glee, Sing-ing mer-ri-ly.

5. PRAISE OF SINGING.

Allegro.



1. { Chil-dren, all with cheer-ful-ness Let your songs be ring-ing !
Mus - ic all your lives will bless, There-fore still be sing-ing ! }
2. { When good hu-mor flies a-way, Then comes care and sad-ness ;
Quick-ly sing o cheer - ful lay, - All will soon be glad - ness ; }
3. { Sing the larks in yon-der sky, Sing the birds at e-ven,
Swal-lows from the house-top cry, - All give thanks to Heaven ; }



Sing-ing smooth the rug-ged way Through this vale of sor-row ;
Mu-sic cheers the dark-est hours, Peace and com-fort bring-ing ;
For-est, field, and mead-ow, too, With their songs are ring-ing ;



Sing-ing cheers the dark-est day, Brings the bright-est mor-row.
What the dew is to the flow 'rs, To the soul is sing-ing !
Where-fore, chil-dren, should not you Ev-er - more be sing - ing ?

4. THE FARMER.



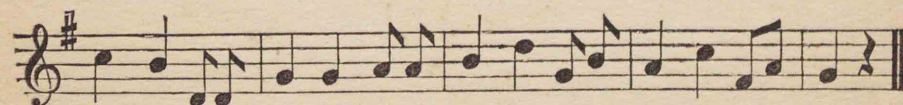
1. Shall I show you how the farmer, Shall I show you how the



far-mer, Shall I show you how the farmer Sows his* Bar-ley and



what? Look 'tis so, so that the farmer, Look 'tis so, so that the



farm-er, Look 'tis so, so that the farmer Sown his* bar-ly and wheat.

* 第二節ニハ “mows his”; 第三節ニハ “brings in”

第四節ニハ “threshes” ト歌ヒ四度繰返スベシ

6. ROBINSON CRUSOE.

Spirited.

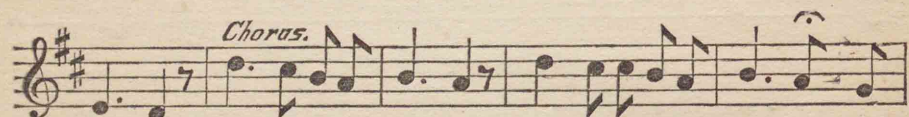
"Rogue's march."



1. When I was a lad, I had cause to be sad, A very good friend I did
2. But he saved from a-bird an old gun and a sword, And another odd mat-ter or
3. His hut was a match for um-brel-la of thatch, And his clothes were too old to be



lose, O! I war-rant you, Dar, you have heard of this man, His name it was Robin-son
two, so That by dint of his thrift he just managed to shift, And keep a-live Rohin-son
new, so That his par-rot at last would cry out as he passed, "Hurrah for old Robin-son



Cru-soe. Oh, Rob-in-son Cru-soe! Oh, poor Rob-in-son Cru-soe! He
Cru-soe. Oh, Rob-in-son Cru-soe! Oh, poor Rob-in-son Cru-soe! whether
Cru-sos. Oh, Rob-in-son Cru-soe! Oh, poor Rob-in-son Cru-soe! His



Went off to sea and be-tween you and me, Old Neptune wreck'd Rob-in-son Cru-soe.
tenpet or Turk, or wild man or work, No mat-ter to Rob-in-son Cru-soe.
par-rot is dead, and his goats have all fled The home of old Rob-in-son Cru-soe.

4.

The cannibals came to his island one day,

To feast, for all cannibals do so,

But Friday, their man, jumped out of the pan,

And ran off to Robinson Crusoe.

Oh, Robinson Crusoe! Oh, poor Robinson crusoe!

He fired off his gun, and then there was fun

For lonely old Robinson Crusoe.

5.

But he never lost hope, and he never would mope,

And he always had faith, as should you, so

That come as it might, it always was right

With honest old Robinson Crusoe.

Oh, Robinson Crusoe! Good old Robinson Crusoe!

Where can school-boy be found to stop at a round

"Hurrah for old Robinson Crusoe!"

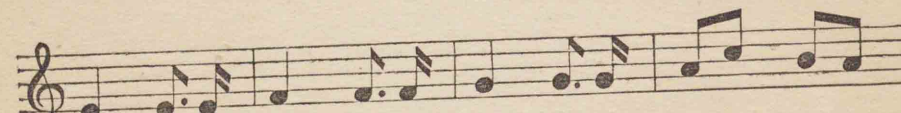
8. Drummer boy.



1. Drum-mer boy, drum-mer boy, where are you go - ing,
2. Col - our boy, col - our boy, where are you hie - ing,
3. Sol - dier boy, sol - dier boy, where are you go - ing,



Roll - ing so gai - ly your bold ra - ta - plan? I
Wav - ing your ban - ner of red, white, and blue? I
Bear - ing so proud - ly your Knap - sack and gun? I



go where my coun - try my ser - vice is need - ing,
go where the flag of the free should be fly - ing,
go where my coun - try my du - ty is show - ing,



Roll - ing so gai - ly my bold ra - ta - plan.
Wav - ing my ban - ner of red, white, and blue.
Bear - ing so proud - ly my knap - sack and gun.

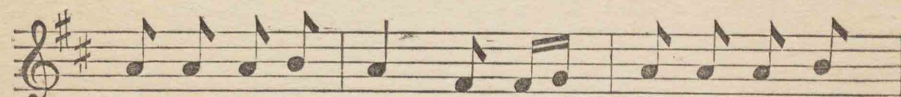
4.

When will you come again, soldier-boys, playing,
Drumming, and waving, and bearing the gun?
Not while our country shall bid us staying,
Drumming, and waving, and bearing the gun.

7. SUMMER SONG.



1. Come, come, come, The Sum-mer now is here; Come,
2. Come, come, come, The Sum-mer now is here; Come,
3. Come, come, come, The Sum-mer now is here; Come,



out a - mong the flow - ers, And make sweet, pret - ty
cul the sweet - est po - sies, The vi - o - lets and
ram - ble in the bush - es. And hear the mer - ry



bow - ers; Come, come, come, The sum - mer now is here.
ro - ses, Come, come, come, The sum - mer now is here.
thrush - es, Come, come, come, The sum - mer now is here.

4.

Come, come, come,
The Summer now is here;
We'll sing a song together,
This warm and pleasant weather;
Come, come, come, etc.

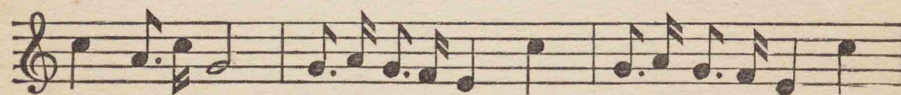
5.

Come, come, come,
The Summer is here
Come, out among the flowers
And make some pretty bowers,
Come, come, come, etc.

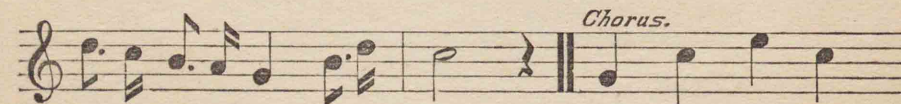
9. SWINGING 'NEATH THE OLD APPLE-TREE.



1. Oh, the sports of child-hood ! Roaming thro' the wild-wood, Running o'er the mead-ows,
2. Sway-ing in the sun-beams, Floating in the shad-ow, Sail-ing on the breez-es,



hap - py and free ; But my heart's a- beat-ing For the old time greet-ing,
hap - py and free ; chas-ing all our sad-ness, Shout-ing in our glad-ness,



Swing - ing 'neath the old ap-ple tree. Swing-ing, swing-ing,
Swing - ing 'neath the old ap-ple tree. Swing-ing, swing-ing,



Swing - ing, swing - ing, Lull-ing care to rest 'neath the old ap - ple tree,
Swing - ing, swing - ing, Lull-ing care to rest 'neath the old ap - ple tree,



Swing-ing, swing-ing, swing-ing, swing-ing, swing-ing 'neath the old ap-ple tree.
Swing-ing, swing-ing, swing-ing, swing-ing, swing-ing 'neath the old ap-ple tree.

3.

Oh, the sports of child-hood !
Roaming thro'the wild-wood,
Sing-ing o'er the mead-ows, hap-py and free ;
How my heart's a-beat-ing,
Think-ing of the greet-ing,
Swing-ing, 'neath the old ap-ple tree.
Swinging, swing-ing, swing-ing, swin-ing,
Lulling care to rest 'neath the old ap-ple tree,
Swinging. swinging, swinging' swinging,
Swinging 'neath the old apple tree.

10. HAIL COLUMBIA.

(米國合衆國々歌)

With Energy.

F. Hopkinson, 1798.



1. Hail Co-lum-bia, hap-py land! Hail, ye heroes, heav'n-born band,
2. Immortal patriots, rise once more, Defend your rights, defend your shore!



Who fought and bled in free-dom's cause, Who fought and bled in freedom's Cause,
Let no rude foe, with im - pious hand, Let no rude foe, with in pious hand,



And when the storm of war was gone En-joy'd the peace your val - or won. Let
In-vade the shrine where sacred lies Of toil and blood, the well-earn'd prize. While.



in - de - pendence be our boast, Ev - er mind - ful what it cost;
off'ring peace, sincere and just, In Heav'n we place a man - ly trust,



Ev - er grateful for the prize, Let its al - tar reach the skies.
That truth and jus - tice will pre-vail, And ev' - ry scheme of bondage fail.



Firm, u-ni-ted, let us be, Ral-ly-ing round our lib-er-ty,



As a band of broth-ers join'd, Peace and safe-ty we shall find.

3.

Behold the chief who now commands,
Once more to serve his country stands

||: The rock on which the storm will beat, :||

But armed in virtue, firm and true,
His hopes are fixed on Heav'n and you.

When hope was sinking in dismay,
When glooms obscur'd Columbia's day,
His steady mind, from changes free,
Resolved on death or liber-ty.

CHORUS

Firm, united, let us be,
Rallying round our liberty,
As a band of brothers join'd,
Peace and safety we shall find.

附
樂理大要

○譜表

第一 音樂ニ用フル所ノ聲音ヲ形ニ表ハス記號ハ之ヲ名ケテ音符ト云フ

第二 音符ハ之ヲ水平五線上ニ記載スルヲ以テ音ノ高低ヲ表ハスモノニシテ此五線ヲ名ケテ譜表ト云フ

第三 譜表ハ之ヲ計フルニ下ヨリ上ニ及ボシ其線上及ビ線間ニ音符ヲ記載シ若シ上下共五線以外ニ涉ルトキハ更ニ短線ヲ設ケテ其線上及ビ線間ニ之ヲ記載ス此線ヲ名ケテ加線ト云フ

○音部記號

第四 樂音ニハ其根元トナルベキ音ノ數七種アリテ此七



種ノ音ニハイ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘ、ト、ノ七文字ヲ附シテ其名
稱トス之ヲ名ケテ音名ト云フ

第五

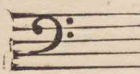
譜表ノ首端ニハ必ズ一ノ記號ヲ附記スルモノニシ
テ此記號ヲ名ケテ音部記號ト云フ

第六

音部記號ニハ通常高音部記號及ビ低音部記號ノ二
種ヲ用キ第二線上ニ記載スル所ノモノヲ(ト)字記號
ト稱シ(ト)音ノ位置ヲ示シ第四線上ニ記載スル所ノ
モノヲ(ヘ)字記號ト稱シ(ヘ)音ノ位置ヲ示スモノトス



ト字記號



ヘ字記號

第七

普通短音唱歌ヲ記載スルニハ高音部記號ヲ記載シ
タル五線ノ譜表ヲ用キ下第一ノ加線上ニアル音ヲ

以テ(ハ)トナシ他ハ皆之ニ準ジテ其名稱ヲ定ム左ノ
如シ



○音符及ビ休止符

第八

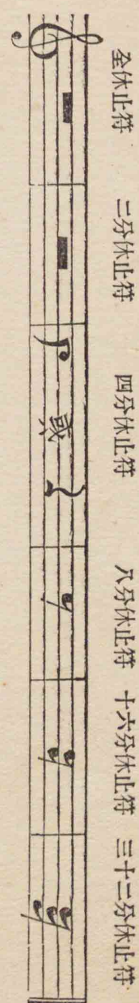
音ノ長短ハ音符ヲ以テ之ヲ表ハスモノニシテ左ノ
六種トス其名稱及ビ形狀ノ左如シ



右ノ中全音符ヲ最長ノ音トナシ他ハ順次ニ前音符
ノ半數ノ長サヲ有スルモノナリ

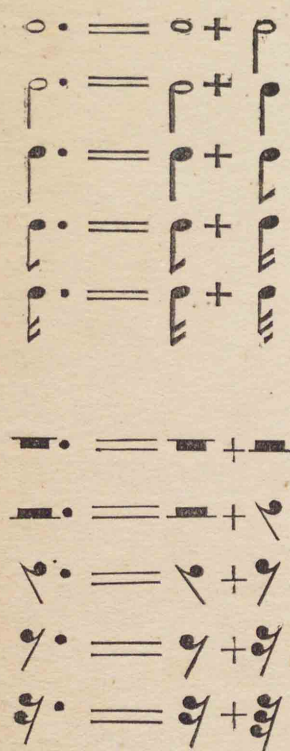
第九

樂曲中ニ於テ一定ノ時間休止スルコトアリ之ヲ表
ハス記號ヲ休止符ト云ヒ左ノ六種トス其名稱及ビ
形狀左ノ如シ



第十

音符及ビ休止符ノ右肩ニ一點ヲ附スルトキハ其音
長更ニ前音ノ二分ノ一ヲ追加シタルモノト同一ナ
ルモノナリコレヲ名ケテ附點音符及ビ附點休止符
ト云フ其割合左ノ如シ

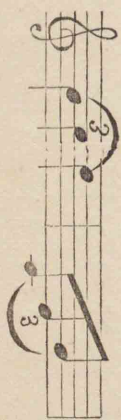


第十一

音符及ビ休止符ノ右肩ニ二點ヲ附スルトキハ其音
長更ニ第一ノ附點ノ二分ノ一ヲ追加シタルモノト
同一ナルモノナリ

第十二

時トシテ四分音符三個又ハ八分音符三個ヲ弧線ニ
テ連合シ3ノ字ヲ附記スルトキハ前者ハ之ヲ二分
音符一個後者ハ之ヲ四分音符一個ト同一ノ長サニ
奏スルモノトス此等ヲ名ケテ三連音符ト云フ左ノ
如シ



○小節

第十三

樂曲ハ之ヲ分チテ拍數ノ等一ナル數個ノ小部分トナスモノトス此小部分ヲ名ケテ小節ト云フ

第十四

小節ハ縦線ヲ以テ之ヲ區劃スルモノニシテ此縦線ニハ單複ノ二種アリテ單縦線ハ小節ヲ區分シ複縦線ハ小節ヲ區分スルト共ニ樂曲ノ段落及ビ終結等ヲ告グルニ用フルモノトス

○拍子

第十五

一樂曲ニ於ケル各小節間ノ拍數ハ皆同一ナリト雖トモ其音符ノ數ハ之ヲ一ニスルヲ要セズ然シテ休止符モ亦其拍數ニ算入スベキモノトス

第十六

樂曲ノ拍子ハ音部記號ノ後ニ拍子記號ト名クル一ノ分數ヲ記載シテ之ヲ表示スルモノニシテ分母ハ

音符ノ種類ヲ表ハシ分子ハ一小節間ニ含有スル音符ノ數ヲ示シタルモノトス例令バ $\frac{2}{4}$ ナル拍子記號ハ一小節間ニ四分音符二個若クハ之ト同一ナル價ヲ有スルモノナルコトヲ表示スルモノトス

○拍子ノ種類

第十七

普通用フル拍子ニハ二拍子四拍子三拍子六拍子ノ四種ニシテ其拍子記號ハ左ノ如シ

二拍子 $\frac{2}{4}$ $\frac{2}{2}$ (C)

四拍子 $\frac{4}{4}$ (C) $\frac{4}{8}$

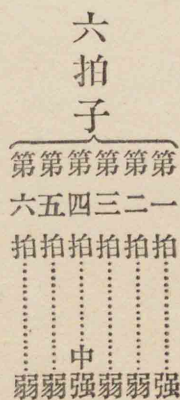
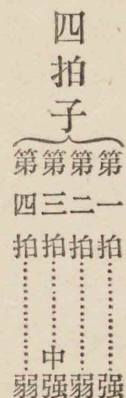
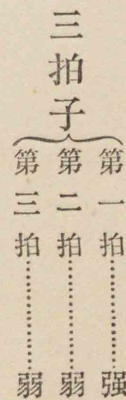
三拍子 $\frac{3}{4}$ $\frac{3}{8}$

六拍子 $\frac{6}{8}$

第十八

小節ニ於ケル初音ハ皆強聲ニ奏スベキモノニシテ

各拍子ニ於ケル強弱ノ部分ハ皆一定セルモノト
ス左ノ如シ



○音階

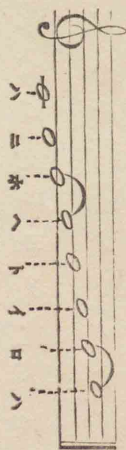
第十九

(ハ)チ根音トナシ順次ニニ、ホ、ヘ、ト、イ、ロ、ハ、ノ八音ヲ連
續シタルモノヲ名ケテ音階ト云フ

第二十

音階トハ全音(一音)及ビ半音ノ二種ヨリ成立チ第三
音ト第四音及ビ第七音ト第八音トノ間ニ半音ヲ有

スル所ノモノヲ長音階ト云フ左ノ如シ



第二十一

音階ハ固ヨリ一個ノミニテハ満足スベカラザルヲ
以テ猶他ニ數多ノ音階ヲ作出シテ之ヲ使用ス而シ
テ各音階ノ名稱ハ皆其根音タルベキ音名ヲ以テ之
ヲ定ムルモノトス例之バ根音ノ(ハ)ナルトキハ之ヲ
名ケテ(ハ)調音階ト云ヒ又(ニ)ナルトキハ(ニ)調音階ト
云フガ如シ

第二十二

音階中模範トナルベキモノハ(ハ)調音階ニシテ他ハ
皆コレニ基ヅキ作出セルモノナリ故ニ(ハ)調音階ハ

即チ基礎音階ナリ

第二十三

音階ニハ便宜上1、2、3、4、5、6、7、iノ八文字ヲ附シテ其名稱トス之ヲ階名ト云フ

第二十四

樂曲中ニ於テ或音ヲ半音上ダ又ハ半音下グルコトアリ此ノ如キトキハ嬰變及ビ本位記號ト名クル記號ヲ用キ其上下スル音符ノ前ニ附記ス其形狀左ノ如シ

嬰 \sharp 變 \flat 本位記號 \square

嬰ハ其音ヲ半音上ダ變ハ其音ヲ半音下ダ本位記號ハ嬰及ビ變ニヨリ上下シタル音ヲ本來ノ位置ニ復サシムル所以ノモノナリ左ノ如シ



第二十五

嬰變兩記號ハ其用法ニ二様アリ一ハ即チ樂曲ノ途中ニ於テ或音ノ直前ニ附ス斯カル場合ニ於テハコレヲ臨時記號ト稱シ又一ハ音部記號ノ直後ニ附ス斯カル場合ニ於テハコレヲ調子記號ト稱ス

但シ本位記號ハ重ニ臨時記號トシテ之ヲ使用スル場合多シ然レトモ又一樂曲中ニ於テ調子ヲ變化セシムル場合ニモ用ユルコトアリ

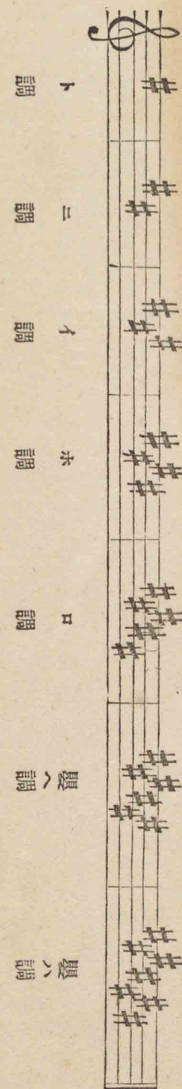
○嬰變兩種音階

第二十六

音階ニハ嬰種及ビ變種ノ兩種音階アリテ嬰種トハ
♯ノ記號ヲ用キ變種トハ♭ノ記號ヲ用キテ音階ヲ
構成スルヲ以テ此名アリ

第二十七

嬰種音階ヲ構成スルニハ(ハ)調音階ヲ基礎トナシ其
ヨリ順次ニ第五音ヅ、上ルトキハ第七音ハ常ニ(ハ)
調音階ニ比シテ半音低キヲ以テ之ヲ上グルニ必ズ
嬰ヲ附ス此ノ如クシテ遂ニ一嬰ヨリ七嬰ニ至リ七
種ノ音階ヲ構成スルコトヲ得其調號ヲ附スベキ位
置ヲ示セバ左ノ如シ



第二十八

變種音階ヲ構成スルニハ(ハ)調音階ヲ基礎トナシ其
ヨリ順次ニ第四音ヅ、下ルトキハ第四音ハ常ニ(ハ)
調音階ニ比シテ半音高キヲ以テ之ヲ下グルニ必ズ
變ヲ附ス此ノ如クシテ遂ニ一變ヨリ七變ニ至リ七
種ノ音階ヲ構成スルコトヲ得其調號ヲ附スベキ位
置ヲ示セバ左ノ如シ



○雜記號

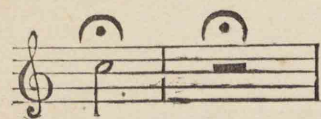
第二十九

樂曲ノ或ル一部分若クハ或音ニ限リ特ニ變化ヲ與
フルコトアリ此場合ニ於テハ其部分ノ初メ若クハ

其音符ニ相當ナル記號ヲ附ス此等ノ記號ヲ名ケテ
雜記號ト云フ

第三十

或音符若クハ休止符ヲシテ其一定ノ長サヨリ特ニ
延長シテ奏スベキ場合ニハ延聲記號ト名クル半圓
形ノ内部ニ一點ヲ附シタル記號ヲ附記ス左ノ如シ



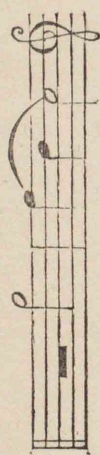
第三十一

或音符ヲシテ短速鮮明ニ奏スベキ場合ニハ垂點ト
名クル記號ヲ附記ス左ノ如シ



第三十二

高度ヲ異ニセル數個ノ音符ヲシテ圓滑ニ奏スベキ
場合ニハ連結ト名クル弧線ヲ以テ其音符ヲ連合ス
左ノ如シ



第三十三

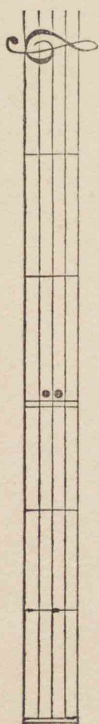
同度ナル二個ノ音符ヲシテ其時間丈ケ初メノ音符
ヲ延長シテ奏スベキ場合ニハ連合ト名クル弧線ヲ

以テ其音符ヲ連合ス左ノ如シ



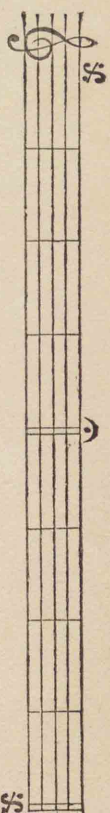
第三十四

樂曲中ノ一部分ヲシテ反復セシムベキ場合ニハ反復記號ト名クル二個若クハ四個ノ小點ヲ復縦線ノ前ニ附記ス左ノ如シ



第三十五

樂曲ノ全部ヲシテ反復セシムベキ場合ニハ其首尾ニ ♩ ノ如キ記號ヲ附記ス然ルトキハ延聲記號ノ存スル所ヲ以テ其反復ヲ終ルモノトス左ノ如シ



第三十六

樂曲中或一部分ヲシテ強聲又ハ弱聲ナラシムルトキハ左ノ記號ヲ附記ス

- p.* (*Piano*).....弱ク
- pp.* (*Pianissimo*).....甚ダ弱ク
- mp.* (*Mezzo-piano*).....稍弱ク
- mf.* (*Mezzo-forte*).....稍強ク
- f.* (*Forle*).....強ク
- ff.* (*Fortissimo*).....甚ダ強ク
- V (*Crescendo*).....漸次ニ強ク
- V (*Diminuendo*).....漸次ニ弱ク

第三十七

Λ (*Accent*) 強ク
 樂曲進行ノ速度ヲ表示スル語ハ常通之ヲ其首端ニ
 附記ス其最モ多ク使用スル語類ハ左ノ如シ

Andante 稍緩徐ニ

Andantino 緩徐ニ

Adagio 最モ緩徐ニ

Grave 嚴格ニ

Moderato 程ヨキ速度ニ

Allegro 急速ニ

Allegro 快活ニ急速ニ

Presto 甚ダ急速ニ

Accelerand. (Accel.) 漸次ニ急速ニ

Ritardando. (rit.) 漸次ニ緩徐ニ

Allegro 本來ノ速度ニ

明治三十五年七月五日印刷
明治三十五年七月八日發行

定價金參拾錢



(譯譜及膳寫ヲサズ)

編者

東京市下谷區池ノ端七軒町七番地

鈴木米次郎

同

同市小石川區白山前町四十一番地

野村成仁

發行者

同市京橋區銀座三丁目二番地

倉田繁太郎

發行所

同市京橋區銀座三丁目二番地

十字屋

印刷者

同市京橋區宗十郎町十五番地

山口竹二郎

印刷所

同市京橋區宗十郎町十五番地

會社東京國文社

1919.11.8



庫

2

29

広島大学図書

0130458329

